

プレスリリース [令和5年1月23日]

(計 1枚)

第31回全国救急隊員シンポジウムで 3年連続 加賀市消防本部が選ばれ発表を行います

全国救急隊員シンポジウムは、全国の救急隊員等を対象とした実践的観点からの研究発表や最新の医学知識を学ぶ場を提供することにより、消防機関の行う救急業務の充実と発展に資することを目的としています。(シンポジウムHPより一部抜粋)

今年で第31回を迎え、全国から多くの消防機関を中心とした医療従事者が参加する大規模で歴史あるシンポジウムです。全国の消防機関の注目度も高く、本シンポジウムの演題発表には査読委員会における厳正な審査があり、当市消防本部の救急活動や検証成果が採用されたことは大変意義あることです。

なお、本症例の発表に際しては、河中拓郎救急救命士が発表内容を作成し、加賀市医療センター総合診療科、岡田 和弘（おかだ かずひろ）医師より監修をいただいています。

【第31回全国救急隊員シンポジウム概要】

開催日 令和5年1月26日（木）、1月27日（金）
開催地 広島県広島市
会場 広島市文化交流会館 JMSアステールプラザ
主催 広島市消防局 一般財団法人救急振興財団

【加賀市消防本部の発表について】

発表時間 令和5年1月26日（木）16時10分～
発表内容 開放空間で発症した一酸化炭素中毒の一例
発表者 加賀市消防本部 大聖寺分署
救急救命士 河中 拓郎（かわなか たくろう）
発表会場 広島市文化交流会館（広島県広島市中区加古町3番3号）
第2会場（ルミエール）

本件へのお問合せ先
加賀市消防本部 大聖寺分署 担当：河中 TEL 0761-73-0119

